

2013 まちづくりアドバイザー活動事例集

【北 区】	(担当：西原 秀倫)	
北区 地域とつながるワークショップ	1
雲ヶ畑グリーンツーリズム	1
【上 京 区】	(担当：浅田 雅人)	
上京ふれあいネット「カミング」の制作	2
烏丸今出川駐輪対策プロジェクト	2
【左 京 区】	(担当：山中 はるな)	
静原の里ワークショップまとめ冊子「静楽」の作成	3
まちづくりワークショップ「左京朝カフェ」の運営	3
【中 京 区】	(担当：深川 光曜)	
中京マチビト Cafe の開催	4
地域で活躍する『まちづくり仕掛け人』を育てる	4
【東 山 区】	(担当：大塚 敏之)	
東山観光支援コミュニティ	5
まちづくりカフェ@東山	5
【山 科 区】	(担当：佐藤 友一)	
エコ学区の取組と「山科 ECO 新聞」の作成	6
「大好き！やましな魅力発信プラットフォーム」の展開	6
【下 京 区】	(担当：天岡 昌代)	
学区を越えた地域活性化プロジェクト ～松原通界限～	7
第2ステージをむかえた「下京・町衆倶楽部」の新たな展開	7
【南 区】	(担当：金井 深水)	
区民と企業のふれあいの場の設定 ～南の「知」活用促進～	8
地域防災力強化ワークショップ ～避難所模擬体験～	8

【右 京 区】	(担当：朝倉 眞一)
「てくてく太秦」 ～まちあるき散策マップづくり～	9
元小学校を活用した地域の活性化/京北黒田地区	9
【西 京 区】	(担当：田尾 純子)
西京塾	10
ふらっと・西京	10
【西京区洛西支所】	(担当：山本 一貴)
「なんやかんや！大原野」の企画運営	11
自治会加入促進に向けた「大枝はみんなで一つプロジェクト」	11
【伏 見 区】	(担当：亀村 佳都)
伏見エコライフプロジェクト	12
「伏見をさかなにざっくばらん」	12
【伏見区深草支所】	(担当：加藤 ゆうこ)
地域活性化事業による<ふかふか家>立ち上げ支援	13
若者と地域が共に進める地域資源の再評価の取組	13
【伏見区醍醐支所】	(担当：谷 亮治)
だいごっこおでかけマッププロジェクト	14
はばたけ未来へ！醍醐プロジェクト	14

北区 地域と若者つながるワークショップ

【事業概要】 若者の地域参加及び区民主体のまちづくりを更に推進することを目的とした「地域と若者 つながるワークショップ」を開催（11月）しました。北区に暮らしていても、なかなか話す機会の少ない若者・大学生と地域住民が60名程集まり、まちづくりについての多様なアイデアや、一緒に活動する難しさについて対話する機会となりました。



【役割／関わり方】

地域と若者つながるワークショップの企画・運営のサポートおよび参加者の交流促進

- 当日の全体進行や、テーブル進行補助。
- 対話の場づくりに向け、若者を中心とした企画運営チームを結成し支援。
- 当日の対話を、参加者の共有と参加者以外への発信に繋げるため、対話を twitter で記録し発信するつぶやき隊を結成しサポート。

雲ヶ畑地域グリーンツーリズム

【事業概要】 雲ヶ畑地域の足として利用されていた京都バスが廃止になり、自治振興会が運営主体となって、雲ヶ畑バス「もくもく号」を運行しています。この「もくもく号」の利用者増加を図ろう！と、歩くまち京都推進室と雲ヶ畑自治振興会、北区役所や旅行会社等が協働してグリーンツーリズムを企画しました。川遊びやフィールドアーチェリー、草木染めなどの体験プログラムを7回実施し100名程が参加されました。



【役割／関わり方】

雲ヶ畑地域グリーンツーリズムの企画・運営のサポートおよび関係機関の調整

- 体験型プログラムの企画・運営についてアドバイス。
- 持続的に取り組める体制づくりの支援。
- 多様な関係機関での会議の場における進行補助。

この事業を担当したアドバイザー 西原 秀倫

上京ふれあいネット「カミング」の制作

【事業概要】上京区が運営する情報発信のポータルサイト「カミング」を、NPOと協働して運営しました。区民からレポーターを募集・育成し、上京の町の多様な人や場所への取材を行い、上京区の魅力（文化、人、活動など）を発信しました。



【役割／関わり方】

HPの運営、市民レポーターのチームづくりから取材先の開拓、地域での交流イベントまで、NPOと協力しながら実施

- 町の活動にまだなじみの薄い若い世代を中心に、町のレポーターとして募集し、カミングの情報発信のためのレポーターへと育成した。
- NPOとともに、サイトの企画・運営のアドバイスを行った。

烏丸今出川駐輪対策プロジェクト

【事業概要】自転車の違法駐輪が深刻化していた烏丸今出川交差点の課題解決のために、行政各局、地元住民、警察、土木事務所、同志社大学、同志社大学生などが入ったプロジェクトチームを作って、解決にあたりました。



【役割／関わり方】

事務局には上京区役所が入り、各団体が集まったのワークショップの場を企画した

- 関心のありそうな大学生への参加呼びかけ。
- 当日のファシリテーション、全体進行のサポート。
- 事務局運営体制・広報活動へのアドバイス。

この事業を担当したまちづくりアドバイザー 浅田 雅人

静原の里ワークショップまとめ冊子「静楽」の作成

【事業概要】平成22年度から3年間、静原学区にて、地域活性化ワークショップを開催しました。24年度は「伝統文化の継承」をテーマに、夏には盆踊り、秋には「おくどさん見学スタディツアー」、冬には「わらじ編みワークショップ」を開催し、まちづくりアドバイザーとして企画運営をサポートしました。



年度末にはこの3年間のまとめを行い、内容を冊子にまとめました。今後は地域による自主的な運営が行われ、静原地域の活性化に向けてのイベントやそれを企画する会議が行われます。

【役割／関わり方】

地域住民と大学が企画運営を行う際の運営サポートやコーディネート

- 地域住民の賛同をえられ、かつ、静原の伝統・文化の継承を実現できるプロセスの検討、提案。
- ワークショップの実行部隊である企画運営委員会での司会進行等。
- フェイスブックやブログなどによる広報のサポート。
- 「静楽」のレイアウトや文章構成の編集作業。

まちづくりワークショップ「左京朝カフェ」の運営

【事業概要】区民が気軽に集え、自主的なまちづくり活動のアイデアや仲間と出会う場である「左京朝カフェ」の企画運営を行いました。



3つのシーズンに分かれ、計9回のワークショップを開催。第2シーズンからは、「朝カフェの場を継続したい」という自主的な区民運営スタッフが運営に参加。より参加者目線のイベントを開催しました。参加者からは「左京朝カフェグループ」という、まちづくりの主体が7グループ誕生し、今後も朝カフェとリンクしながら活動を続けます。

【役割／関わり方】

企画立案やプログラム作成、広報、当日のファシリテーションなど

- 朝カフェのコンセプトやねらいなどをスタッフで共有し、ねらいに沿った効果的なプログラムを立案。
- 当日の運営補助やファシリテーション。
- 区民運営スタッフ会議での運営サポート。
- 広報の支援。

この事業を担当したアドバイザー 山中 はるな

中京マチビト Café の開催（区基本計画推進事業）

【事業概要】中京区内でまちづくりに取り組む人＝“マチビト”の情報交換，交流を目的として「中京マチビト Café」を年3回（8月，11月，2月）開催しました。

会場から話し合いたいテーマを出してもらい，この指とまれ方式で，参加者が関心のあるテーマのテーブルに分かれ交流を行いました。

ここでの出会いをきっかけに参加者同士がつながり，協力・連携した取組が動き出しています。



【役割／関わり方】

中京マチビト Café の企画・運営のサポートおよび参加者の交流促進

- 当日のファシリテーター，全体進行。
- 協力・連携することによって各自の取組のプラスになりそうな，参加者同士のマッチング。
- 中京マチビト Café facebook ページの運営サポート。
- 参加者からのまちづくりに関する相談受付・対応。

地域で活躍する『まちづくり仕掛け人』を育てる

【事業概要】中京区では，次世代を担うリーダーの育成を目的に，「まちづくり仕掛け人養成講座」を開催しました。受講者は8名。全5回の講座を通じて，想いやアイデアを具体化するための企画提案力や，その企画を人に伝えるためのプレゼンテーションスキルの向上に取り組みました。なお，平成24年度からまちづくりアドバイザーが講師を担当しています。



【役割／関わり方】

講座の講師，運営支援，楽しんで受講できる雰囲気づくり

- 講師として，中京のまちづくり事例や企画のつくり方を紹介しました。
- 受講生を対象としたグループワークでは，企画・アイデアに関連する事例の紹介などの情報提供を行いながら，受講者の想いやアイデアを企画のかたちにするのをサポートしました。
- 受講者に継続して参加してもらえるよう，楽しんで受講できる雰囲気づくりに努めました。
- 企画のブラッシュアップの際には，他区担当のまちづくりアドバイザーの協力を得ました。

この事業を担当したアドバイザー 深川 光曜

東山観光支援コミュニティ

【事業概要】 「東山観光支援コミュニティ」とは、誰もが安心して観光を楽しめるユニバーサルツーリズムの推進を目指して、観光客に対してより親切できめ細かいサービスを提供しようとするお店や観光施設が集まるコミュニティです。平成 24 年度は、京都産業大学の大学生、区役所職員等からなるプロジェクトチームをつくり、コミュニティの立上げから、その運営・活性化に向けた諸々の仕組みづくりまで、ミーティングを重ねながら一つひとつカタチにしていきました。



【役割／関わり方】

地域・大学・行政の協働をサポートするプロデュース役

- コミュニティの立ち上げ、運営法、活性化策等についてアイデアを提案しました。
- 上記アイデアを実現するための仕組み（体制、活動内容、情報発信・情報共有など）をプロジェクトチームとともに作りました。
- チームミーティングや参加者交流会において、ファシリテータとしてアイデアの引き出しや合意形成のプロセスを組み立てリードしました。

まちづくりカフェ@東山

【事業概要】 東山区では、住民主体のまちづくり活動を支援する取り組みとして、「まちづくりカフェ@東山」を開催しています。

平成 24 年度は、参加者のみなさんがそれぞれ気の合う仲間をみつけて、関心のあるテーマごとにチームをつくり、自由な発想で主体的に東山でのまちづくり活動を実践されました。区役所においては、定期的に交流会を開催し、チーム活動に対する助言・サポート等も行いながら、参加者のみなさんの主体的な活動を支援しました。



【役割／関わり方】

行政・地域住民による取組をサポートするコーディネイト役

- より多くの参加者が出会い・つながり、主体的なまちづくり活動へと結びつくよう、交流会（全 8 回）のプロセスとプログラムを企画し運営しました。
- 参加者のチーム作りやチーム活動について、アイデアや方向性の提示、必要となる人・モノとの結び付けなど、多面的にサポートしました。
- チーム内外の情報共有・情報発信を進め、チーム活動の円滑化と活性化を図りました。

この事業を担当したアドバイザー 大塚 敏之

エコ学区の取組と「山科 ECO 新聞」の作成

【事業概要】山科区では、区内全 13 学区が「エコ学区」の認定を受け、平成 23 年度から 2 年にわたりモデル事業に取り組みました。2 年目となる平成 24 年度は、1 年目の取組を踏まえ、各学区で取り組む「エコ」な活動を取材してまとめた「山科 ECO 新聞」を発行しました。作成においては、丁寧な取材に加え、読んでもらえるような温かみのある編集デザインに留意しました。



【役割／関わり方】

モデル事業内容の企画、取材候補の紹介、編集

- 1 年目の取組を基に山科の地域特性を考慮し、2 年目の活動内容を企画した。
- 取材担当者に取材候補を紹介するとともに一部の取材には同行して調整を行った。
- 冊子作成事業者、区役所などとの編集会議で、行政の発行物にありがちな硬いデザインでなく、読む気を起こさせるデザインとなるよう、助言を行った。
- 区民の方に冊子を活用して取組の輪を広げてもらうために、「山科 ECO 新聞」を読むポイントを伝える「早読みチェックの会」を企画した。

「大好き！やまのしな魅力発信プラットフォーム」の展開

【事業概要】山科区では、メーリングリストによる情報交換の仕組みとして、平成 24 年 3 月末に当プラットフォームを立ち上げ、開始約 1 年たった時点で登録は 50 名を超え、情報発信は 160 通となっています。1 月末に、登録者同士やプラットフォームに興味のある人が顔を合わせる交流会を開催したところ、33 名が集まりました。交流会では、秋に山科一円の神社が同じ日に祭を行う「山科祭り」についての講演を聞き、その後各人の思う山科の魅力について語り合いました。時間を忘れるほど話が弾み、「いろいろな人と話ができ良かった」「また交流会をやりたい」などの声をいただきました。



【役割／関わり方】

情報交換の仕組みの検討・企画、プラットフォームの運営補助

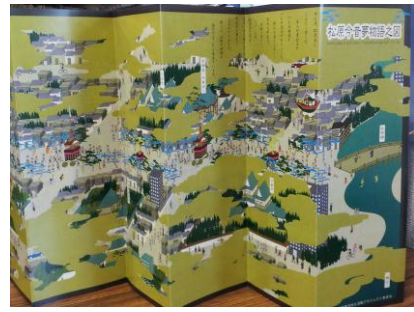
- 発信される情報が少ないときは区役所から山科の地元情報を発信する等、立ち上がったプラットフォームでの盛り上がりを持続するように配慮を行った。
- 顔を合わせて交流する「交流会」を企画。また当日の進行も務め、参加者の交流を深めた。
- プラットフォームのチラシ作成についてアドバイスを行った。

この事業を担当したアドバイザー 佐藤 友一

学区を越えた地域活性化プロジェクト～松原通界限～

【事業概要】 松原通界限活性化活動プロジェクト委員会は、「松原通に賑わいを」をテーマに、堀川通から松原橋までの松原通沿いにある7つの学区から1人ずつが参加し、「町衆の思いをひとつに松原通の復権」を目指して活動しています。

平成24年度は、地域の方に松原通の魅力を知ってもらうための講演会とまち歩きの実施、祇園祭の日和神楽のお迎え、活動のPRマップである『松原今昔夢物語之図』の制作を行いました。



【役割／関わり方】

松原通のことを真剣に愛するメンバーそれぞれの思いが「かたち」になるように進めてゆく進行役

- 活動資金として「下京区『区民が主役のまちづくり』サポート事業補助金」の活用を提案。
- 新旧の居住者に対して松原通の歴史や文化、名所旧跡を知ってもらうための歴史講演会とメンバーがガイド役となったまち歩きを提案。
- デザイナーを紹介し『今昔物語』『洛中洛外図屏風』をモチーフにした『松原今昔夢物語之図』の作成アイデアを出した。

第2ステージをむかえた「下京・町衆倶楽部」の新たな展開

【事業概要】 「下京を愛する方々が集い、魅力あふれるまちづくりについて、自由に議論し、実践する場」として平成23年度にスタートした下京・町衆倶楽部が2年目を迎え活動チームも11チームとなり、各々の分野で活動をはじめました。平成24年度は活動支援隊がサポートにつき、元安寧小学校の活動拠点も整備され、ここを舞台にした「町衆サロン」「下京サンデー茶屋」も定期的で開催されました。



【役割／関わり方】

区役所、活動支援隊と連携しての「町衆倶楽部」全体の支援と個別活動チームの支援、「町衆交流会」「町衆サロン」「下京サンデー茶屋」の運営方法の提案、コーディネーター役

- チーム活動を総括し、24年度活動内容を紹介する壁新聞の作成を提案。
- 会員の勉強会「町衆サロン」への話題提供。
- 新たな活動チーム設立の支援。
- 「町衆交流会」の企画運営の支援。

この事業を担当したアドバイザー 天岡 昌代

区民と企業のふれあいの場の設定～南の「知」活用促進～

【事業概要】 ものづくりのまち・南区の強みを生かし、区内の企業がもつ「知の財産」を紹介する講座や見学会を通じ、区民と企業の交流を促進します。

平成23年度は「日本新薬」と「ワコール」の協力を得て実施し、平成24年度は「堀場製作所」と「おたべ」の協力を得て実施しました。



【役割／関わり方】

区民のみなさんがどのような施設の見学を希望しているのか、関心があるのかをリサーチして、区役所に提案し、運営をサポートしました。

- 当日の運営補助。
- アンケート調査の分析。
- 見学企業選定の助言、実施日程の助言など。

地域防災力強化ワークショップ～避難所模擬体験～

【事業概要】 地域防災力の強化に向け、地域住民と区役所、消防署が協働で、避難所の開設・運営をテーマにした体験型研修を実施しました。

避難所の運営のシミュレーションの体験を通して課題を話し合い、避難所運営マニュアルの作成につなげていきます。



【役割／関わり方】

ブロックに分かれて行われた研修会に参加し、当日の運営をサポートしました。

- 先行事例の提示。
- 当日の運営補助。

この事業を担当したアドバイザー 金井 深水

「てくてく太秦」～まちあるき散策マップづくり～

【事業概要】平成23年度から2年間、太秦地域（太秦学区・南太秦学区・嵯峨野学区）の地域住民自らが地域の魅力を再確認し、発信していくためのマップづくりに取り組みました。作成したマップを使った世代間交流や新規居住者への情報提供など、多くの地域住民に地域の魅力を知ってもらい、地域のつながりを広げるとともに地域への愛着を深めてもらうことを目指しました。



【役割／関わり方】

参加者が楽しく、継続して関わられるような企画運営を進めるコーディネーター役

- 2年間という期間内での作成、かつ地域住民のペースで無理なく作成していくプロセスの検討、提案。
- 将来的に地域でマップを使った活動が生まだせるようなプロセスの検討、提案。
- 全参加者によるワークショップ、学区ごとのワークショップなどのプログラム立案、会合での司会進行やファシリテーション。
- ワークショップで出された意見をもとに、地域住民の目線で使いやすい、また魅力をしっかり伝えられるようなマップのデザイン作成。

元小学校を活用した地域の活性化／京北黒田地区

【事業概要】右京区京北黒田地区では、休校となった元小学校を地域活性化の拠点とするべく、地域住民自身が活用の方向性を考え、その実現に向けて取り組んでいます。平成24年度は、元小学校の活用方法の検討から手作りでの拠点整備を開始しました。またこれからの地域の活性化に向けて、さまざまな立場の方との交流会を開催しました。



【役割／関わり方】

アイデア提供や方向性の提示など、相談役、コーディネーター役

- 元小学校の活用方法、活動内容を考えるにあたっての事例紹介、情報提供。
- じっくり取り組んでいくような活動の進め方、できることから始めるなどの活動の方向性についてのアドバイス。
- 農山村地域、林業をテーマに活動する若い世代との交流会、京北地域で活動するNPO団体との交流会の企画運営。

この事業を担当したアドバイザー 朝倉 眞一

西京塾

【事業概要】 前「西京区基本計画」の重点プロジェクトの一つとして、まちづくり活動が活性化することを目的に、公募による塾生が「豊かな水と緑」、「悠久の歴史」、「環境」など多彩なテーマについて学び、活動の企画と実践により、多くの区民へ成果を発信する取組です。平成23年度からは、新しい区基本計画の中に位置づけられ、より自主的な活動を行っています。



【役割／関わり方】

区民の主体的な活動の支援

- より主体的に活動できるよう、助言や情報提供を行いました。
- 企画立案のミーティングにおいて、課題を抽出し、目的を明確化するサポートを行いました。
- プログラム実施時の運営補助を行いました。
- 西京塾と区役所がより協働できるようコーディネートしたり、区役所に対して助言や情報提供を行いました。

ふらっと・西京

【事業概要】 平成21年度から、西京区内の自治連合会の役員の方を中心に、地域力の向上を目的とした「まちづくりリーダー塾」を開催してきました。平成24年度からは次のステップとして、「西京をより良いまちにしたい」という思いのある誰でもが参加できるフラット（平等・中立的）でふらっと（気軽）な、交流・語り合い・学び合いの場の「ふらっと・西京」を実施しました。



【役割／関わり方】

事業の企画・運営

- 事業全体の企画・運営に対する助言を行いました。
- 先行して類似事業を実施している他区の情報を収集しました。
- これまでに関わりのあったグループや個人に参加を呼びかけるなど広報に協力しました。
- 毎回の「ふらっと・西京」において、グループのファシリテーションや記録を行いました。
- 事務局の立場で「『ふらっと・西京』を一緒に盛り上げよう」というテーマを提案し、よりよい運営のため、参加者から意見やアイデアを引き出しました。

この事業を担当したアドバイザー 田尾 純子

「なんやかんや！大原野」の企画運営

【事業概要】大原野を中心とした西山地域の活性化を図るため、農業と観光を地域振興の2本柱に据えて、地域ブランド戦略の策定をめざす取組です。初年度である平成24年度は、地域資源の再発見と評価のために、地域の内外から多くの人々が集まり、大原野の「いま」と「これから」についてなんやかんやと語り合う場を企画し、実施しました。



【役割／関わり方】

人材の発掘とネットワーク化、誰もが気軽に集える場づくりの企画・運営

- 大原野・西山地域で農業に携わる方々、店舗や工房などを開く自営業者の方々などから、日頃の活動や地域への想いを聴き、地域のニーズや取組への期待を把握するとともに、人的な地域資源を発掘し、ネットワーク化する役割を担いました。
- 支所地域力推進室と西部農業振興センターのほか、有志の市職員からなるプロジェクトチームとともに、計4回にわたるワークショップ（うち1回はまちあるき）のプログラム立案を行い、当日はグループディスカッションの進行役を務めるなど、場づくりの企画・運営を行う役割を担いました。

自治会加入促進に向けた「大枝はみんなであっつプロジェクト」

【事業概要】大枝学区では、地域の絆を強め、安心安全で住みよいまちづくりをめざして、自治連合会、各自治会、各種団体がプロジェクトチームを組んで連携し、自治会加入の促進活動に取り組んでいます。平成24年度は、加入状況についての現状把握、自治会活動を紹介するパンフレットなどの勧誘ツールの作成や勧誘方法の検討をおこなうとともに、勧誘活動の実践にも力を入れて取り組んでいます。



【役割／関わり方】

地域が一体となって自治会加入の促進に取り組むことができるようなチームづくり

- 地域のプロジェクトチームに対して、自治会加入の促進活動の実践に向けた具体的な取組、メンバーが一体となって取り組むことのできるようなプロセスとプログラムを企画し提案しました。
- 各回のワークショップに関して、当日の司会進行やファシリテーション、事後のデータ解析やまとめをサポートしました。
- 今年度の成果と課題について振り返り、メンバーで共有する機会を提案し、次年度も継続して活動を続けていく機運づくりをサポートしました。

この事業を担当したアドバイザー 山本 一貴

伏見エコライフプロジェクト

【事業概要】伏見区基本計画の重点戦略「融合プロジェクト①」として、区民有志や京エコロジーセンターなどの専門機関と連携しながら、環境を大切に思う気持ちを育み、伏見の自然や資源を“伏見のめぐみ”として学んで伝える活動を行っています。平成 24 年度は、伏見産の野菜をテーマに作り手から学び、味わい、交流する「伏見のめぐみ de 利きいなり」と、環境という切り口から伏見で活躍する人・団体取材する「伏見のエコな人図鑑」を行いました。



【役割／関わり方】

プロジェクトチームづくりからイベント運営まで、区民が主体的に活動へ参加する機会づくり

- 環境に関心のある学生や広報戦略に長けた社会人などに声をかけて約 20 名のチームを結成。チーム会議ではアイスブレイクなどを取り入れるなど、チームメンバー間の信頼関係を大事にしながら目標を立てて活動しました。
- イベント開催時には、会話や共同作業を通じてメンバーと参加者が打ち解け合えるような場面を設定した上で、取材を通じて見つけた伏見の「めぐみ」を伝えられるように企画しました。

「伏見をさかなにざっくばらん」

【事業概要】伏見区基本計画の重点戦略「融合プロジェクト③」として、参加者が伏見でやってみたいことを伝え合い、人との出会いによって活動の輪を広げる場づくりを平成 24 年 6 月から毎月 1 度行っています。通称「ふしざく」と呼ばれる「伏見をさかなにざっくばらん」でのワークショップを経て、日本酒やアート、昔話などをテーマとするチーム活動が始まりました。



【役割／関わり方】

事務局（※）の一員として、「ふしざく」の企画・運営と当日の進行

※伏見区役所、京都市伏見青少年活動センター、京都市市民活動総合センター、京都市伏見いきいき市民活動センター、京都市国際交流会館、京都市景観・まちづくりセンター、京エコロジーセンター、NPO 法人場とつながりラボ home's vi のアドバイスなど様々な団体で構成されています。

- 関心のありそうな個人・団体への参加を呼びかけました。
- ファシリテーションや進行を担当し、参加者同士話しやすくする雰囲気づくりに努めています。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー 亀村 佳都

地域活性化事業による〈ふかふか家〉立ち上げ支援

【事業概要】 深草支所では、コミュニティの交流拠点を作る地域活性化事業に協力してきました。平成 24 年度には、深草商店街の空き店舗を改修し〈ふかふか家〉としてオープンしました。運営には商店街の他、地域の各種団体、福祉法人、NPO、大学、公的センター等が参画し、カフェの運営をはじめ様々なプログラムを提供し、地域の方々が気軽に立ち寄れる場所を目指しています。



【役割／関わり方】

地域内外のさまざまな団体と行政の、議論の場作りのフォロー役

- 立場や利害の異なる団体が集まって行うワーキング会議において、議論が円滑に進むよう、進行をサポートしています。
- 行政主導にならぬよう、会議の持ち方や提案の出し方について、支所の職員や主たる関係者と打ち合わせを重ね、住民主体のまちづくりを支援しています。
- 世代や業種を超えたコラボレーションの芽があれば、実現に向けての紹介やコーディネートをしています。

若者と地域が共に進める地域資源の再評価の取組

【事業概要】 深草支所管内には、多数の教育機関があり、大学や学生と地域の連携を深めています。現地に赴き、地域の取組を体験・見学させてもらい、関係者の話を聴く活動、「Fits (フィッツ)」を継続的に行っています。学生、教員、地元団体、事業者、有志の個人、支所職員らが参加しています。この活動を契機に、学まちコラボ、大学サテライトキャンパス構想、地域活性化事業など、主体的に、また横断的に、地域に関わる若者が増えています。



【役割／関わり方】

地域を見聞したい若者と、話を聴いて関心を持ってほしい地域との仲介役

- 支所事業への新しい参画の契機として、さまざまな参加を促します。
- 地域の課題抽出や資源発掘のパイロット事業として、ひとりひとりの意見や体験を重視した場を設定し、若者の質問力を鍛え、地域のプレゼン能力を高めるよう助言します。
- 関心のある個人が、それぞれのテーマで出会い交流できる機会を作ることで、お仕着せでない具体的な連携の動きを促進します。

この事業を担当したアドバイザー 加藤 ゆうこ

だいごっこおでかけマッププロジェクト

【事業概要】 このプロジェクトは、醍醐地域の親子の孤立を防止し、地域のことを知ったり、地域で友人知人と関係を結んだりするきっかけを提供するために、子育て中の親が子を安心して連れだして親子で一緒にお散歩したくなるような、楽しさ・ワクワク感を盛り込んだ地図を作成するプロジェクトです。日常的に子どもたちと接する保育所や地域の子育て世代、地域組織などとの協働で行いました。



【役割／関わり方】

様々な主体が協力しやすい場のデザイン

- 保育所や地域組織など、様々な主体が強みを発揮して協力できるよう、ワーキンググループなどの運営体制を提案しました。
- 事務局に寄り添い、現状を把握しながら、運営上の課題を整理して解決のサポートを行いました。
- 地域のおすすめスポット情報を吸い上げるために、ワークショップの運営をサポートしました。

はばたけ未来へ！ 醍醐プロジェクト

【事業概要】 醍醐支所では、支所における市民サービスの向上及び醍醐地域の活性化を目標に、支所の各課から横断的に集まった若手メンバーを中心に構成されるプロジェクトチームをつくっています。チームで取り組む事業の企画立案から実施までを一貫して行っています。各課の情報交流や、研修の場としての効果も期待されます。平成24年度は、醍醐地域のキャラクター「もちもちいん」のPRや、グッズ開発についてデザインを提案するなどのサポートを行いました。



【役割／関わり方】

場づくりの手法や組織運営をOJTで学ぶ機会を提供

- 会合の運営をスムーズにするため、プロジェクトチームに寄り添い、チームの状況を分析しながらアドバイスを行いました。
- チーム運営に必要なファシリテーションの技術を、チームメンバーが使えるようにOJTを行いました。
- チームメンバー同士の交流を促し、研修効果を高める企画を立案しました。

この事業を担当したアドバイザー 谷 亮治